

# 市議会だより

# GOJO

No.75

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
令和2年(2020年)5月1日

【「堂々と」智辯学園高等学校 1年 久保遥希さん(写真新聞部)撮影】

## 令和2年五條市議会

### 第1回3月定例会の概要

令和2年第1回3月定例会は、3月2日に開会、会期を25日までの24日間と決定し、初日に市長の施政方針と提出議案の説明を受けるとともに、代表監査委員から令和元年度定期監査結果報告、また、総合体育館における事務の執行についての特別委員会の委員長報告がありました。

本定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクの着用や一般質問などの時間短縮等を実施しました。

本定例会には、令和2年度各会計予算案をはじめ、五條市一般廃棄物等処理手数料及び五條市斎場使用料審議会条例の制定、五條市大塔ライフハウス条例の制定、令和元年度五條市一般会計等の補正予算などの重要案件が市長から提案され、令和2年度の各会計予算案については、慎重審議を期するため、予算審査特別委員会を設置し、それぞれ慎重審議を行うとともに、8名の議員が一般質問を行い、3月24日に議事が全部終了し閉会いたしました。

#### 目次

一般質問	2～9ページ
総務文教常任委員会の報告ほか	10ページ
厚生建設常任委員会の報告	11ページ
予算審査特別委員会の報告ほか	12～13ページ
表決結果と議決結果	14ページ
議決結果・議長交際費	15ページ
南和広域医療企業団議会の報告ほか	16ページ



定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

### 学校統合による保護者負担増を軽減することについて (バスの利用料金について)

### Q: 学校統合による保護者負担軽減について

A: 学校適正化を進めていく上で、補助金を全体的に見直し、継続してまいりたい。

平岡清司議員

**平岡** 市や教育委員会では、学校適正化の検討を平成25年からスタートし、8校あった小学校が5校、5校あった中学校が3校になる。その中で問題の一つが通学である。市のコミュニティバスやデマンド型タクシーは、小学生以下や障害をお持ちの方は無料だが、中学生は200円である。

**教育部長** スクールバスでは、野原中学校区の生徒1名、デマンドバス利用では、6kmを超える生徒が阿太地区で15名、北宇智地区で3名である。

**平岡** 現在でもコミュニテ

イバスやデマンド型タクシーを使ってスクールバス乗り場まで来ていると思うが、補助金はあるのか尋ねる。

**教育部長** 公共交通機関利用の生徒に対しては、一定の利用料金を超えた分について補助がある。学校適正化を進めて行く上で、補助金を全体的に見直し、継続してまいりたいと考える。

**平岡** 西吉野町地区から五條中学校へ向うスクールバスに、丹原町の生徒は乗車できるのか尋ねる。

**教育部長** 6km未満の丹原町の生徒は利用できない。

**平岡** 西吉野町地区から、五條中学校へのバスは何台出るのか尋ねる。

**教育部長** 6台のバスが出る。

**平岡** バスには多くの空席があると思うが乗車できないのか伺う。

**教育部長** そのような声はあると思うが、6km未満の生徒は乗車はできない。

**平岡** 五條市ビジョンの中には、SDGsとあり、「誰一人取り残さない社会の実現、そして子供たちを育てたいと感じてもらえるまちの実現」ともある。受益者負担の原則は確かにあるが、保護者の負担になるというのはどこか違う。

デマンドバスやデマンド型タクシーを利用して通学せざるを得ない生徒に対して、公平に全額補助が可能なのか尋ねる。

**教育長** 通学にあたり6kmを超える生徒に対する補助については、これまでも検討しなければならぬ課題として捉えてきた。このたびの学校適正化事業により、通学する学校が変わることから、補助について検討を重ねてきた結果、スクールバス利用との公平性を鑑み、6kmを超えてコミュニテ

バスやデマンド型タクシー等を利用して通学する生徒にも全額補助に向け、早期に取り組んでまいりたい。

**平岡** 全額補助をしていただけだと理解する。学校統合に関して生徒はもろろん、保護者の方々も心配されているので、よろしくお願

する。

その他の一般質問

1 消防団組織の編成と地域との連携について

2 契約に至るまでのプロセスについて



(デマンド型コミュニティバス)



窪 佳秀議員

**Q：新型コロナウイルス感染症対策について**

A：医療機関の受診方法、相談など窓口の充実、強化を行う。

**新型コロナウイルス感染症対策について**

**窪** 五條市感染症対策本部の取組について伺う。

**すこやか市民部長** 市長を

本部長とした9回の本部会議の開催、市ホームページへの掲載、FM五條・防災行政無線の活用、自治会への回覧文書・広報五條等により市民への注意喚起を行った。市役所来庁者には手指消毒・必要に応じたマスクの提供、保育所・幼稚園等に手洗い講習の実施、市主催のイベント等は原則中止若しくは延期の決定、幼稚園・小学校・中学校・高等学校において、春期休業までの期間を臨時休校とした。

**窪** 感染者が発生した場合の対策について伺う。

**すこやか市民部長** 市民がとるべき行動の情報提供、感染が疑われた場合、医療機関の受診方法、相談など

窓口の充実、強化を行う。

**窪** 感染症対策に必要な備蓄品について伺う。

**すこやか市民部長** 平常時は大人用・子供用サージカルマスク、医療用マスク、防護服、医療用ガウン、ゴム手袋、手指消毒液、消毒用アルコール、消毒用の噴霧器を備蓄している。

**窪** 備蓄品の活用について伺う。

**すこやか市民部長** 公共施設を中心に市民の健康と安全を守るために活用する。

**窪** 市内の公共施設の備蓄品の把握について伺う。

**すこやか市民部長** 備蓄品は各部署で個々に管理しており、本部として把握していない。今後備蓄品の数量、使用期限等定期的な確認管理、他部署と連携し一括した備蓄品の管理を行う。

**窪** 感染が拡大すると必要な物品が入手できない。一括管理を行うことで、必要

な部署に備えることができると考える。



**五條インターチェンジ周辺整備について**

**窪** 周辺整備の進捗状況について伺う。

**都市整備部長** 施設配置計画のタイプを、施設一体型とすることで維持費に配慮した集約型とし、事業区域の地籍調査の事前調査を行い準備を進めてきた。

**窪** 五條インターチェンジ周辺整備と市の活性化について伺う。

**政策企画監** 地域間交流の促進を実現するための主要な事業と認識している。観光、商業目的の施設整備事業は市の活性化を実現するための一つの選択肢である。

**窪** 今後の取組について伺う。

**都市整備部長** 地籍調査実施に向け県との調整を終え、新年度予算案として計上している。

**市長** 将来への投資とする大型事業を推進する中、財政運営として、各事業の実施時期及び実施期間を見直すことで、事業予算の平準化及び既存施設の活用による効果の確保を合わせた取組を進めている。周辺整備実施の時期については今後も十分検討を行いながら進めてまいらる。

**窪** 通行量の多くなっている京奈和自動車道から一台でも多く降りていただき、流動人口を増加させることにより、五條市・県南部地域の活性化につながると考える。



## Q: ため池ハザードマップについて

A: 地域防災上のリスクの低減を図り、地域の減災意識を高めるため、ハザードマップ等を作成する。

伊谷賢司議員



### 新年度予算について

**伊谷** 令和2年度予算編成は新規事業抑制と言われていたが、具体的事業を伺う。

**理事** 新規事業として、市道の街路灯や公園灯のLED化による維持管理コストの低減事業のほか、世界遺産大峯奥駈道登山道の整備や案内板の設置事業、森林環境譲与税を活用した森林の境界確認事業等、管理コスト削減につながるものや財源が見込めるもの等として、極力予算の抑制を図った。

**伊谷** 新規事業を抑制することで、特に花咲寮やみどり園等の跡地整備事業の予算化が見送られるなどの影響について伺う。

**理事** 花咲寮、みどり園、並びに現庁舎等の跡地整備事業はもとより、事業の予算化は、その整備内容について、事業内容及び事業費等を十分精査の上、適切な時期に予算計上を行う必要があるものと判断している。

### 市内中小企業者に対する支援策について

**伊谷** 本市の利子補給補助金について伺う。

**産業環境部長** 市内で創業した中小企業者を対象に、創業時の負担軽減及び経営の安定化を図るため、受けた融資の利子の一部を補助金として交付する制度がある。

**伊谷** 本市における「ものづくり支援」の創設について伺う。

**産業環境部長** 製品の研究開発に関する融資制度もあるため、中小企業者への周知に努め、今後は市内企業の製品のPRについても、近畿経済産業局主催の展示会への出展等をできるだけ、奈良県産業振興総合センターと連携してまいりたい。

### 防災・減災対策について

**伊谷** 国土強靱化計画の策定について伺う。

**政策企画監** 国土強靱化計画においては、起きてはな

らない最悪の事態を回避するため、「1. 人命を守る」「2. 市民の生活を守る」「3. 迅速な復旧・復興を可能とする」の3つの観点から施策を講じている。

**伊谷** 国土強靱化計画にある、ハザードマップ策定事業として、ため池ハザードマップの作成について伺う。

**産業環境部長** ため池が決壊した場合、下流域の人家や公共施設等へ影響を与え、おそれがあるため池を「防災重点ため池」に位置付け、地域防災上のリスクの低減を図り、地域における減災の意識を高めるため、ハザードマップ等を作成するものである。

**伊谷** 全庁的な地域ハザードマップの作成の取組をお願いする。自治会ごとに土砂、浸水、ため池、避難所等が一体となったマップ作成が必要と考える。



### 市の発展について

**伊谷** 本市における自転車活用推進計画の取組状況及び今後の計画を伺う。

**市長公室長** 市内を巡るサイクリングマップの作成、サイクリングフォトラリーも好評であった実績を踏まえ、更なる自転車活用の推進を図ってまいりたい。

**伊谷** サイクルツーリズムの整備、駅や観光交流センター等を拠点として電動自転車での周遊観光の勉強会、また、園児・児童が楽しめる芝滑りの設置や老若男女の皆様が憩える多目的広場の検討をお願いする。



その他の一般質問

1 新型コロナウイルス感染症対策について

①休校中の教育行政の対策について